

テレワークに関する体験型イベント in Okayama

いつでも
どこでも 誰とでも
を実現する
あなたらしい
働き方を体験!

テレワークは、ICTを活用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方です。
本イベントは、労働者を対象にテレワークに係る労働関係法令についての解説や、
パソコンを用いた体験等テレワークの導入に役立つ
内容で開催いたします。

参加
無料



開催 日程

開催日：2018年10月26日(金)

時間：9:30～12:00(開場 9:00)
14:30～17:00(開場 14:00)

定員：先着順 各30名

参加料：無料

参加要件：Windowsやブラウザ、
パソコンの基本操作ができる方

会場

富士ゼロックス岡山株式会社 本社4階会議室

〒700-0975 岡山県岡山市北区今4丁目14-26
電話：086-243-1051

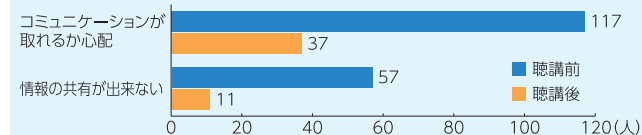
※ご来場の際には、公共交通機関をご利用ください。
駐車場はございません。

岡山駅バスセンター4番乗場
「卸センター・健康づくり財団病院」行き
岡電バスに乗車(所要時間約20～30分)、
「今7丁目」にて下車。徒歩1分。

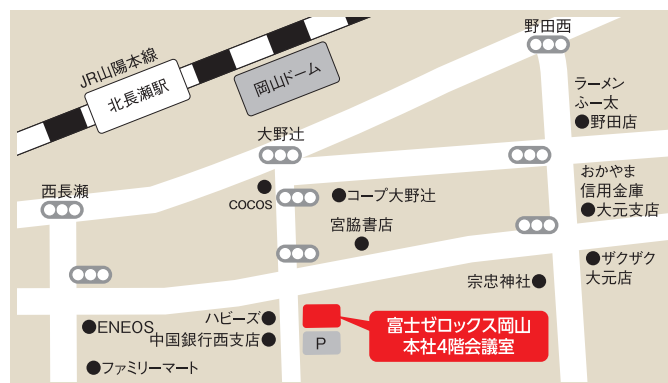
平成29年度 イベント参加者の声

このプログラムへの参加で、テレワークを実施する上で懸念のある人が大幅に減少しました。

■テレワークを推進する上での懸念について、
今回のイベントの体験前と体験後のお考えをそれぞれ伺います。



参考:平成29年度 厚生労働省 テレワークに関する体験型イベント アンケートより



【お問い合わせ】一般社団法人 日本テレワーク協会

担当：富吉 TEL：03-5577-4572 FAX：03-5577-4582

E-mail：seminar@japan-telework.or.jp URL：http://teleworkevent.jp/

主催：厚生労働省 受託：一般社団法人 日本テレワーク協会

■ 労務管理講師のご紹介



テレワーク実施時の労務管理上の留意点と事例紹介
 社会保険労務士法人NSR
 テレワークスタイル推進室 CWO **武田かおり** 氏
 社会保険労務士。総務省地域情報化アドバイザー。厚生労働省・総務省事業他政府事業にて講演、企業・団体様へのテレワーク導入相談対応。労働新聞社「テレワーク最前線(全24回)」連載、日経ムック『実践!テレワークで「働き方改革」』監修、同友館「テレワークの社会的意義—理論と実践」共著他、新聞・雑誌・TV出演多数。

■ テレワーク体験講師のご紹介



情報通信機器利用によるテレワーク体験
 ネクストリード株式会社 代表取締役
 日本テレワーク協会 客員研究員 **小国幸司** 氏
 システム開発(SE)、外資の日本法人スタートアップのビジネス開発を経て、直近約15年は日本マイクロソフトに所属し、コミュニケーション製品のPMとしてマイクロソフトのテレワークプロジェクトを牽引。現在はフリーの立場で様々な業種・業態の企業を相手に各種新規プロジェクトのプランニング、マーケティング支援やコンサルティング活動など幅広い活動を行っている。

■ 体験型イベントプログラム

〈午前の部〉	〈午後の部〉							
9:30 ~ 10:15	14:30 ~ 15:15	テレワーク実施時の労務管理上の留意点と事例紹介 社会保険労務士法人NSR テレワークスタイル推進室 CWO 武田かおり 氏 テレワークにおける就業開始・終了の労働時間の報告のルール等や、働く人からみたテレワークのメリットについて、わかりやすく解説いたします。さらに、テレワークによる働き方によって、育児・介護と仕事の両立等、ワークライフバランスを実現している導入企業の事例を紹介いたします。						
10:15 ~ 11:45	15:15 ~ 16:45	情報通信機器利用によるテレワーク体験 ネクストリード株式会社 代表取締役 日本テレワーク協会 客員研究員 小国幸司 氏 1人1台のパソコンを使用し、テレワークを体験いただきます。 <table border="1" data-bbox="370 966 1511 1177"> <tr> <td>どこにいても社内の力をフル活用</td> <td>「会社に戻らないとわからない」が無くなる、営業先からでも社内の詳しい人の知識をフル活用するテレワークを体験します</td> </tr> <tr> <td>普通の会議をテレワークで実現</td> <td>今いる場所から参加ができるテレワーク会議を体験し、ひとつの場所に集まる従来の会議との違いを確認します</td> </tr> <tr> <td>離れた場所からコンテンツを共同作成</td> <td>作成中のリーフレットのデザイン案を離れた場所から画面で確認するなど、テレワークでの「共同作成」を体験します</td> </tr> </table> テレワークに必要なツールをご紹介します。リモートからのアクセスの方式、コミュニケーションツール、それぞれの使い勝手について解説いたします。さらに、テレワーク時の就業の開始と終了の労務管理ツールを体験いただきます。	どこにいても社内の力をフル活用	「会社に戻らないとわからない」が無くなる、営業先からでも社内の詳しい人の知識をフル活用するテレワークを体験します	普通の会議をテレワークで実現	今いる場所から参加ができるテレワーク会議を体験し、ひとつの場所に集まる従来の会議との違いを確認します	離れた場所からコンテンツを共同作成	作成中のリーフレットのデザイン案を離れた場所から画面で確認するなど、テレワークでの「共同作成」を体験します
どこにいても社内の力をフル活用	「会社に戻らないとわからない」が無くなる、営業先からでも社内の詳しい人の知識をフル活用するテレワークを体験します							
普通の会議をテレワークで実現	今いる場所から参加ができるテレワーク会議を体験し、ひとつの場所に集まる従来の会議との違いを確認します							
離れた場所からコンテンツを共同作成	作成中のリーフレットのデザイン案を離れた場所から画面で確認するなど、テレワークでの「共同作成」を体験します							
11:45 ~ 12:00	16:45 ~ 17:00	テレワーカーとの意見交換 実際にテレワーカーでもある講師と意見交換をいたします。						

「テレワークに関する体験型イベント」in Okayama (10/26) お申込書

※申込締切:10月23日(火)

■ WEBサイトからの申込み <http://teleworkevent.jp/>

※お申込みは原則WEBサイトからのお申込みとさせていただきます。WEBサイトからのお申込みができない方は、以下のFAXでのお申込みを受け付けます。

■ FAXでの申込み：03-5577-4582 以下にご記入いただきFAXをお願いいたします。

参加希望時間(どちらかに○をご記入ください)		午前の部 9:30~12:00	午後の部 14:30~17:00
会社・団体名		部署名	
会社・団体ご住所	〒	電話番号	
1	お名前		
	ご連絡先メールアドレス		
2	お名前		
	ご連絡先メールアドレス		
3	お名前		
	ご連絡先メールアドレス		